



「飼い主のいない猫対策」について

これまで「飼い主のいない猫」については
ふん尿やいたずらなどの被害があっても対策が
ありませんでした。飼い猫であれば飼い主に
苦情を言うことも出来ますが、相手が「飼い主
のいない猫」では不満の持って行き場がなく、
結局被害を受けている方は猫を憎むようになっ
てしまい、餌を与えている人との感情的な問題
や、猫を傷つける事件などが起きることにも
なります。

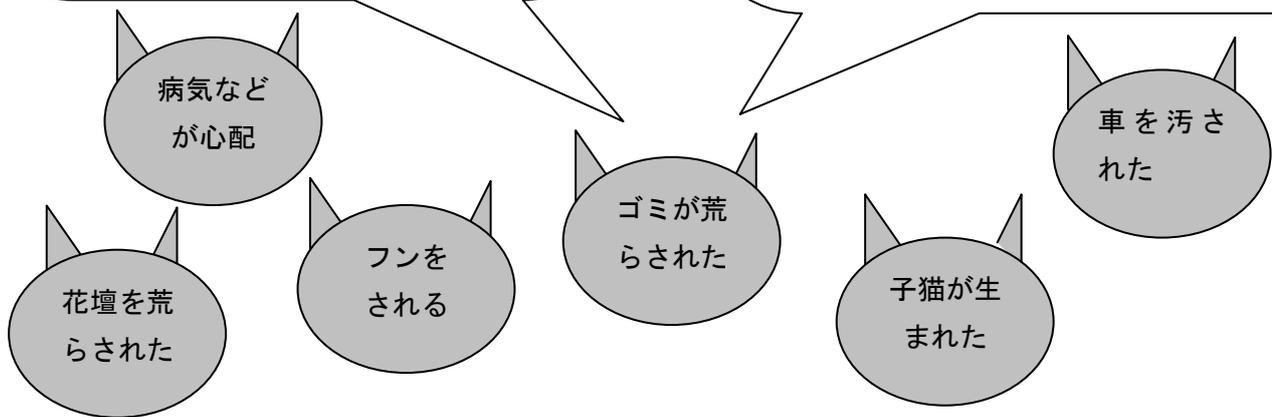
もともと「飼い主のいない猫」は飼い猫が
捨てられて増えたりしたものです。何より猫の
飼い主が責任ある飼い方をすれば不幸な猫は
これ以上増えないはずです。その上で今いる「飼
い主のいない猫」をどうするかを考えていか
なくてはなりません。

その解決策として、猫を排除するのではなく、
これを地域の問題としてとらえ、地域住民で解決
していく「地域ねこ活動」を国も県も市も推奨し
ています。

具体的な活動内容は、

- ①不妊去勢手術を行い増えないようにする
- ②適切に餌を与え食べ残しを片付ける
- ③ふん尿の始末をする
- ④住民同士で情報を共有したり協力しあう
というものです。

このような管理がうまくいけば、「飼い主のいな
い猫の数」や「被害」は増えることなく、徐々に
減少していくものと考えられます。



◎この「地域猫活動」を進めていくには、ここにお住まいの皆様のご理解とご協力が
一番大切だと考えます。猫が好き嫌いなどは全く関係なく、地域の野良猫対策とお考え
いただければ話を進めやすいと思います。

◎まずは、今後活動を共に進めていく 仲間を募集したいと思います。被害に遭ってい
て一日も早く解決したい方、猫の情報をお持ちの方、飼い主の居ない猫を不憫に思う方、
地域活動をしてみたい方、できることから参加してみませんか？お気軽にお電話くださ
い。

〇〇〇ねこの会

【仲間募集中！】

連絡 先電話：〇〇〇—〇〇〇〇
(時～ 時まで受け付けています)